



会場を魅了する演奏を披露した県北中吹奏楽部

## 心をひとつに奏でるハーモニー 県北中吹奏楽部定期演奏会

県北中学校吹奏楽部による第20回定期演奏会が8月9日、観月台文化センターで開かれました。

演奏会で今年度のテーマが『史上最響』の同部は、部員18名が練習の成果を存分に発揮し、息のあった美しい演奏で来場者を魅了しました。部員の努力の結晶と成長のあかしに、来場者からは満場の拍手が送られました。



メッセージが放送されたラジオを聴く児童たち

## 子どもたちがラジオをとおした交流 国見小6年生が熊本へ復興を願ってメッセージ

7月に熊本県を襲った豪雨災害を受け、武田功さん（大町北）の呼びかけにより、国見小学校の6年生が短冊に復興を願ったメッセージを書いて熊本県のRKKラジオ「福ミミらじお」へ送りました。8月27日には、児童たちが自分たちのメッセージが放送されたラジオ番組を聴きました。なお、送った短冊は、熊本県球磨村立渡小学校に飾られています。



8月23日の表彰伝達式で披露された『竿頭綬』

## 28年ぶりの栄誉 国見町消防団が『竿頭綬』を受章

国見町消防団（村上信夫団長）は、平成4年以来28年ぶりに日本消防協会から「竿頭綬」を受章しました。

「竿頭綬」は、平素から消防使命を達成することに務め、他の模範となる消防団に授与される栄誉です。県内では3市町の消防団が受章しました。国見町消防団は、平時からの予防消防活動や令和元年台風19号での災害対応などが認められました。



おいしい桃はこれかな♪

## おいしい桃、とれたよ 国見小3年生 桃収穫体験

国見小学校3年生が8月27日、地域学校協働本部の学校支援活動の一環として、佐藤勝雄さん（石母田）の畑で桃（ゆうぞら）の収穫を体験しました。

春の摘果体験に続く収穫体験では、佐藤さんからおいしい桃ができるまでの苦労などを教えてもらった後、みんなで桃を収穫。児童たちは自分でとった桃を笑顔で見せあっていました。



これからもみなさんが利用しやすい施設を目指します

## 復興のシンボルとして 国見町役場庁舎が『公共建築賞 優秀賞』

国見町役場庁舎が第17回公共建築賞の優秀賞を受賞し、主催する公共建築協会から賞状と銘版が届きました。

東日本大震災で旧庁舎が被災し、平成27年に新庁舎が完成。地元木材を使用し、東京電力福島第一原発事故を教訓として環境に配慮した再生可能エネルギーを積極的に利用しています。機能的で木のぬくもりや安心感のある公共建築として評価されての受賞です。



「大切に育てた花」ありがとうございます

## 思いやりの心とともに “人権の花”を町に寄贈

国見小学校整美委員の児童と町人権擁護委員のみなさんが7月28日、人権の花運動で育てた花を町に贈呈しました。

国見小学校体育館で行われた贈呈式では、佐藤優心さん（6年）が「大切に育てた花をみなさんに見ていただき、心を癒してほしいです」とあいさつし、太田久雄町長に花を手渡しました。贈られた花は国見町役場に飾られ、来庁者をなごませています。



保健師から健診結果の説明を聞く参加者

## 町の健康づくりを推進 健診結果説明会を初開催

今年度から町健診受診者を対象に、保健師や看護師が個別面談により健診結果を使って健康づくりを支援する説明会を開催しました。7月から8月に各地区で行われた説明会では、夫婦で参加したり、家族の結果について説明を聞く人もいました。参加者からは、理解が深まったという感想のほか、「胸のつかえが取れた」、「毎年参加したい」などの声が聞かれました。



熊田局長（右）から感謝状を手渡される太田町長（左）

## 県北管内トップの個人県民税収納率 14回連続で国見町に知事感謝状

平成31年度における個人県民税収納率が優良として、国見町に知事感謝状が贈呈されました。贈呈式は8月4日、国見町役場で行われ、熊田孝福島県県北地方振興局長から太田久雄町長に感謝状が手渡されました。

平成31年度の収納率は現年課税分と滞納繰越分を合わせて99.17%で、知事感謝状の受賞は今回で14回連続となります。



「くにも案内人」が御瀧神社湧水について説明

## 国見の“匂”を満喫 くにも周遊ツアー

仙台圏の人々を対象に、道の駅国見あつかしの郷から巡る「くにも周遊ツアー」が8月7日と8日に行われ、29名が参加しました。

参加者は、バスで国史跡の阿津賀志山防塁、中尊寺ハス、光明寺地区にある御瀧神社湧水や三常院など町の名所や史跡を巡って町の歴史に思いを馳せたほか、桃狩りも体験。夏の国見を堪能する楽しいツアーとなりました。



ボードゲームを楽しむ子どもたち

## オーダーメイド型で子どもたちの学びを くにも学び舎 サマースクール

地域おこし協力隊の門口礼さんと石橋奈々さんがくにも学び舎事業の一環として、夏休み期間中の小中学生を対象としたサマースクールを開催しました。1回につき3名までの対応で、地域おこし協力隊の2人と何をするか計画し、遊びの要素を取り入れながら学びが深まるよう子どもたちに寄り添っています。子どもたちは、夏休みの中でも特別な1日を過ごしていました。